

平成29年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

I 自己評価

1 学校教育目標 (略「学校経営」参照)

2 評価する領域・分野	◇渉外部	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・学年懇談会の運営方法についての検討 ・ふれあい広場や文化祭バザーなど各種育友会行事の内容充実 ・保護者向け文書の確実な伝達 ・育友会予算編成の見直し 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・育友会活動の活性化および学校教育活動への協力・支援 県ガイドラインに則した予算編成の見直し ・同窓会活動の活性化および学校教育活動への協力・支援 	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・育友会本部役員会・常任委員会・母親委員会 育友会だよりの発行 ・同窓会本部役員会・定期総会・東京関西支部総会 同窓会報の発行 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 本部役員、常任委員による協議 (2) 育友会行事に向けての協議 (3) 会報による伝達・周知 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 会員の相互理解 (2) 本部役員による反省 (3) 職員の意見 	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> (1) 教育活動および部活動の支援 (2) 各種育友会行事の開催、本部役員会・常任委員会・母親委員会の開催 (3) 会報の発行 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学校からの要望の実現度 (2) 各種行事の実施内容 効率的な予算執行 (3) 会員の興味・関心度 各種行事への参加 	<p>Ⓐ B C D</p> <p>Ⓐ B C D</p> <p>A Ⓑ C D</p>
11 成果・課題	<p>○育友会本部役員会での協議に基づき、役員の協力体制のもと各種育友会行事を成功に導いた。</p> <p>○今年度の定期総会にて役員組織の改編が承認された。30年度より支部・役員数を削減し、役員選出を円滑にして、組織運営についても支障のない形で運営していきたい。</p> <p>▲1・2年生対象の学年懇談会を学年ごとに開催し、両学年とも70%以上の出席者があった。保護者にとってより魅力のある内容とするため、授業参観や部活動見学を盛り込むなど実施時間や内容を検討する。</p> <p>▲文科系部活動の発表の場である「ふれあい広場」は会場確保が困難となり経費も膨らんでいる。内容について協議し、地元の方々や中学生に向けてのPR方法を検討し、土岐商を身近に感じていただけるイベントとして開催できるよう検討する。</p>	
12 来年度に向けての改善方策案		
<ul style="list-style-type: none"> (1) 県ガイドラインに基づいた育友会会計の見直しと予算編成 (2) 学校教育活動への協力および支援 (3) 育友会行事の開催方法、内容の検討 (4) 同窓会行事の内容充実、帰属意識の啓蒙、70周年事業計画 		

総合評価
A Ⓑ C D